

ラストワンマイル・パートナーズ

大切な委託ドライバー どうすれば守れるのか

軽貨物車両の販売・リース事業と軽貨物運送事業を行っているラストワンマイル・パートナーズ（菊池正寛社長、東京都中央区）は、委託ドライバーの安全と健康を守るため、生体データを活用する「Nobi for Driver」の導入を開始した。

生体データ活用

「Nobi for Driver」導入

社では「どうすれば、会社にとって大切な委託ドライバーの安全と健康を会社として守れるのか」ということを考えていた。

そんななか、同社が興味を持ったのが、一般貨物の会社で導入されている「Nobi for Driver」で、3か月前にトライアルで導入。実際にトライアルに参加した委託ドライバーの健康管理で成果が得ら

ることができ、コミュニケーションもとれるため、当社では委託ドライバーの理解を得て、6月からドライバーに専用スマートウォッチを付けてもらうようお願いしている」という。



（右から）桐村大樹課長と林課長代理